

寄付付きコンクール・・・日本ユニセフ協会を通じ、被災地の子どもたち支援に役立てられます

子どもたちが夏休み中に挑戦すれば、被災地の復興支援を考えるきっかけになるでしょう。



◆日本製粉「みんなが元気になれるもの」

小学生の絵画を募集しています。応募 1 点につき 100 円が日本ユニセフ協会に寄付され、東日本大震災の被災地の子どもたちの支援に役立てられます。9 月 15 日必着。応募する前に HP (<http://www.nippn.co.jp>) での登録が必要。コンクールは 4 回目。今年は日本を支援。

◆ゆうちょ銀行「わたしのアイデア貯金箱コンクール」

自作の貯金箱の応募 1 点につき 10 円が日本ユニセフ協会を通じ被災地の子どもたちに役立てられます。文房具などの学用品や机やいすなどの提供、学校給食の支援など。9 月 30 日までに小学校を通じて応募します。

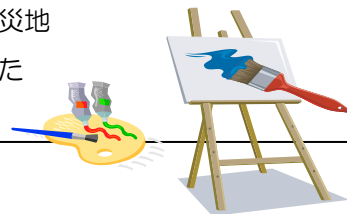
問い合わせ：0120-296285



◆住友生命保険「こども絵画コンクール」

幼児から中学生が対象。締め切りは 7 月～9 月で、地域によって異なる。応募用画用紙を取り寄せると 1 円、応募 1 作品につき 10 円が日本ユニセフ協会に寄付されます。発展途上国と東日本大震災の被災地の子どもたちの支援に役立てられます。被災地

からの応募作品を対象とした特別賞もあります。



全国のユニセフ支援者より提供された

絵本や文具、折り紙などを被災者支援に

日本ユニセフ協会に寄せられた絵本など、県ユニセフ協会を通して、みやぎ生協が被災地の仮設住宅などで行う「子育てひろば」や「ふれあいお茶会」「おゆずり会」「お祭り」などで有効に活用されています。人気があるのは、折り紙、らくがき帳、かるた、トランプ、パズル、絵本など。地域の文庫や読み聞かせグループでの活用も行われています。全国のみなさんに感謝！



中央児童センターに
赤・黄・緑・黒の
ウサギ風船が来た！

「ウサギ風船ひろば」を巨理町で開催しました(7/30Sat.)

0 歳から 10 歳までの子どもと保護者、34 組 70 名以上が参加しました。紙芝居のお話を聞いたあと、マットになっていた段ボールに人体のふちどりをして、地球上にあるいろいろなものを思い思いに自由に描き、その段ボール箱をつないでトンネルを作ります。それは「ドリーム・トンネル」、願いごとひとつを胸に、暗いトンネルをくぐって出口をめざします。怖いけど、願いが叶うことを勇気に、ドキドキしながらゴールへ。みんながんばりました。『楽しかった!!』のひとことに、感想が集約されます。

特大紙芝居 (人が背負う絵画キャンバス)

“Ras go with the wind on the silkroad”

黄色いウサギのラスはシルクロードを旅して、水に、火に、風に出会います。そして乾いた土地で水を求めて争う人間たちをいましめるお話。



ドリーム・トンネル



紙芝居 (7nature usagi)

開催協力：日本セラピー協会、7 Nature Usagi

現在、公益財団法人日本ユニセフ協会は、被災地の幼稚園や保育所の再開に向けてさまざまな活動を行っています。宮城フィールドオフィスは木町通に拠点事務所があります。海外からのユニセフ職員は各国外務所に戻り、現在は日本ユニセフ協会の職員（中井統括、谷口、山岸ほか）が活動中です。



宮城県ユニセフ協会 〒981-3194 仙台市泉区八乙女4-2-2

Tel 022-218-5358 Fax 022-218-5945 E-mail sn.municef_miyagi@todock.jp

新しい情報はホームページが便利です <http://www.unicef-miyagi.gr.jp>

事務所：月曜日～金曜日

10:00～17:30

上記以外 090-7339-5068 (五十嵐)